

編集委員

今井 淳司	大野 裕	北西 憲二	北村 婦美	齊藤 万比古
下山 晴彦	藤澤 大介	中尾 智博	中村 伸一	西村 馨
林 直樹	平島 奈津子	福山 和女	妙木 浩之	山中 康裕

編集同人

青木 省三	飯森 眞喜雄	伊藤 良子	植木 啓文	大森 健一	加藤 敏
亀口 憲治	北山 修	衣笠 隆幸	久保 千春	久保木 富房	小谷 英文
小林 和	坂口 信貴	坂野 雄二	鈴木 純一	高橋 徹	高江洲 義英
滝川 一廣	瀧口 俊子	田畑 治	中村 敬	楢林 理一郎	西村 良二
原田 誠一	平木 典子	弘中 正美	広瀬 徹也	前田 ケイ	松浪 克文
村山 正治	山内 俊雄	山上 敏子	渡辺 久子		(五十音順)

編集室から

本号の特集に寄せられた論考からは、司法精神療
法が抱える課題の大きさを踏まえつつも、その発展
を切り拓こうとする著者たちの強い意志が伝わって
くる。それらの議論は、今後のダイナミックな展開
を予感させるものである。発展の歩みは決して直線
的ではないにせよ、試行錯誤を重ねる過程の中で、
多くの成果が積み重ねられていくことだろう。

編者が本特集の論考を読み進める中で、もう一つ
心に浮かんできたのは永山則夫のことである。彼は
1968年に4件の連続強盗殺人事件を起こし、1997
年に刑死した人物である。1971年に獄中から刊行さ
れた『無知の涙』は大きな反響を呼び、ベストセー
ラーとなった。極度の貧困や度重なる虐待といった生
育環境や、彼を犯罪へと追いやる数々の社会との軋
轢を記述する淡々とした筆致は、多くの人々の心を
揺さぶった。1980年代には、『木橋』（第19回新日
本文学賞受賞）をはじめとする一連の自伝的小説を
発表している。筆者は、この永山の旺盛な執筆活動
に1974年に行われた石川義博による精神鑑定（参
照：『「連続射殺魔」少年事件』（『現代の精神鑑定』
（金子書房、1999）所収））が重要な役割を果たした

と考えている（林（2005）罪悪感を抱くということ。
こころの科学 119；108-115.）。この鑑定は、「被告の
内面を描き出すことによって犯罪の原因を明らかに
する」ために行われた司法鑑定として異例のもので
あって、被告人の感じ方に沿おうとする精神療法的
な配慮が盛り込まれていた。永山は鑑定の後しばら
く精神的な安定を維持し、情状酌量を求める弁護方
針を受け入れて、1981年の無期懲役への減刑を宣告
した第二審判決を勝ち取ることができた。この石川
医師の精神鑑定は、多くの識者がその価値を認めた
のであったが、当時の司法精神医学では、それを評
価する道筋は開かれていなかった。

永山則夫は、現在ならば確実に反社会性・境界性
パーソナリティ症、複雑性PTSDと診断されるケー
スである。現在のわが国では、司法制度の中でその
ような精神障害を取り扱う準備が始められようとし
ているように思われる。今後さらに努力が集積され
ることによって、永山則夫の事例が遠い過去の出来
事とみなされる日が一日も早く訪れることを祈念す
る。（N.H.）

精神療法 第52巻第4号（年6回発行）

2026年8月5日発行（通巻275号）

定価2,420円（10%税込）年間購読料17,820円（10%税込／増刊含／送料不要）

※次号第52巻第5号より、定価2,640円に改定となります。

購読ご希望の方は電話・葉書にてお申し込み下さい。

全国の書店からも注文できます。

発行所 株式会社 金剛出版

発行人 中村 奈々

〒112-0005 東京都文京区水道1-5-16 升本ビル

Tel. 03-3815-6661 Fax. 03-3818-6848

振替口座 00120-6-34848

e-mail eigyo@kongoshuppan.co.jp

URL <https://www.kongoshuppan.co.jp/>

表紙レイアウト 白井新太郎装釘室／印刷・製本 太平印刷社

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。